



- 松戸
- 上本郷
- 松戸新田
- みのり台
- 八柱
- 常盤平
- 五香
- 元山
- くぬぎ山
- 北初富
- 新鎌ヶ谷
- 初富
- 鎌ヶ谷大仏
- 二和向台
- 三咲
- 滝不動
- 高根公園
- 高根木戸
- 北習志野
- 習志野
- 薬園台
- 前原
- 新津田沼
- 京成津田沼
- 京成幕張本郷
- 京成幕張
- 検見川
- 京成稲毛
- みどり台
- 西登戸
- 新千葉
- 京成千葉
- 千葉中央

金比羅神社

かつて幕張は、目の前に海岸が広がり、多くの住民が漁業を産業としていました。



▲平成16年5月に再建された新社殿

子守神社

この神社は、祭神は奇稲田姫命(すいなだひめのみこと)・建速素戔鳴尊(たてはやすさのをのみこと)・大己貴尊(おほのみこと)を祀るとされ、建久5年(1194年)に千葉介平常胤(ちのすけのたねのむね)の四男胤信(たねのぶ)が造営したと伝えられています。

また同じ敷地内には、以前この近くに存在し道路拡張工事で移転してきた秋葉神社もあります。



〈秋葉・昆陽神社〉

秋葉・昆陽神社

この神社は、江戸時代中期の享保20年(1735年)に甘藷(サツマイモ)の試作・栽培をこの幕張の地で成功させたといわれる儒学・蘭学者、青木昆陽(あおきこんよう)の功績を称え、建立されたといわれています。

なかでもこの金比羅神社は、大物主神(おおものぬしのかみ)を祀り、漁の安全と大漁を願う参拝者が賑わったとされています。現在では、幕張の海岸も埋め立てられ、漁業を営む住民もいなくなりましたが、境内には当時の面影を偲ばせる石碑などがあります。



▲かつての社(やしろ)跡地

未来型新都心として開発が目覚ましいこの幕張新都心の中心部に在るこの公園は、緑や花、街と海が融合する公園を目的として昭和62年4月1日に開園しました。

京成幕張海浜公園

園全体の面積はおよそ71haで、園内はJR海浜幕張駅北側に位置するAブロックから、幕張の浜に面したGブロックまでの7つのブロックで構成されており、日本庭園のある「見浜園」、直径20メートルの「花時計」、遊具の揃った「わんぱく広場」などがあり、新都心の憩いややすらぎの空間として、また国際交流の場としての役割を果たしています。

京成幕張駅～子守神社～県立幕張海浜公園

約3.5km

この地図は、京成幕張駅から子守神社、金比羅神社、秋葉・昆陽神社、そして京成幕張海浜公園までのルートを示しています。距離は約3.5kmです。公園には見浜園、花時計、わんぱく広場などの施設があります。

※道路横断の際車には十分お気を付け下さい。